

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年07月11日

計画の名称	交通拠点施設へのアクセス道路の整備に伴う地域の活性化を支援する道づくり（交通拠点連携集中支援）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	宮崎県												
計画の目標	空港・港湾等の交通拠点への1次アクセス道路の整備を行うことにより、地域の産業・経済の基盤強化を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	194	A	194	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29末	H32末	H34末
1	空港・港湾等の交通拠点への1次アクセス道路の整備を行うことにより、（走行短縮時間×交通量）を増加させる。 （走行短縮時間×交通量） = （箇所N1の整備前の走行時間×箇所N1の交通量） - （箇所N1の整備後の走行時間×箇所N1の交通量）（h・台/日）	0h・台/日	0h・台/日	89h・台/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	(国)327号・永田工 区	バイパス L=3.0km	日向市						194	1.6	-
											小計						194		
											合計						194		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 宮崎県県土整備部にて評価を実施	事後評価の実施時期 事業終了後
	公表の方法 宮崎県ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	交通拠点施設へのアクセス道路の整備により、交通の円滑化が図られ、地域の産業、経済の基盤強化に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	-
特記事項（今後の方針等）	
事業の全線供用のため、引き続き事業推進を図り、事業効果の早期発現を目指す。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	89h・台/日
	最終実績値	126h・台/日
<p>空港、港湾等の交通拠点への1次アクセス道路の整備を行うことにより、（走行短縮時間×交通量）を増加させる。</p> <p>（国）327号・永田工区の部分供用等により、移動時間の短縮や走行性の向上が図られたことで、最終目標値以上の進捗となった。今後は、未完了区間の整備推進を図り、事業効果の早期発現を目指す。</p>		